

48時間DVD レビュー

48時間DVDは買いか？

[TOPへ戻る](#) [よんばちDVD](#)

48時間DVDとはどんなもの？

48時間DVDとは、簡単に言えば48時間だけ観れる(再生できる)DVDである。
48時間を経過するとディスクの樹脂が光を透さなくなり再生出来なくなるようになっている。
注)環境によっては48時間以上再生できる場合あり。

では実際にパッケージ、ディスクを見てみよう。
なお、今回の作品は「アビエイター」である。



サイズは16cm×25cm (変なサイズだ！)



本当に真空パックされている。



返却用封筒。返却は任意である。



48DVDの注意書き
未開封の状態でも鑑賞期限は1年ぐらいいい。



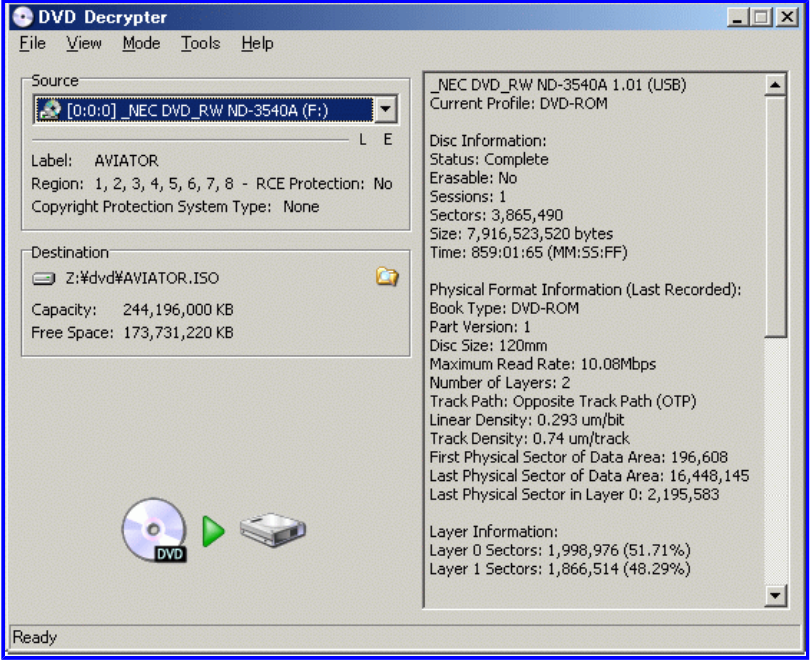
赤いディスクは異様である。(開封直後)



ディスク最内径のアップ。(開封直後)

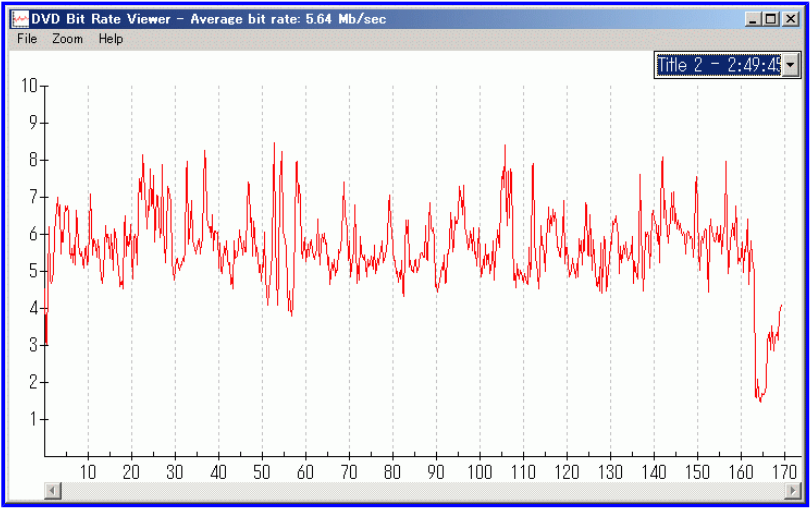
48DVD検証

リッピングは可能か？



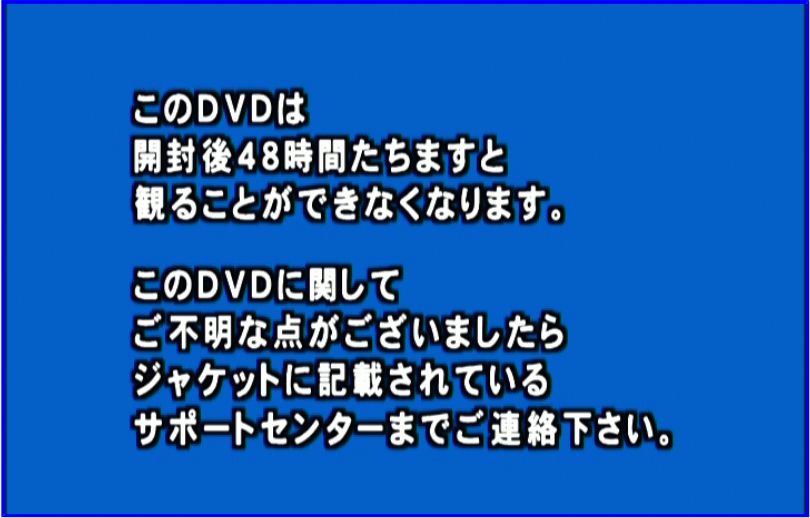
48DVDは48時間以内であれば通常のDVDと全く変わらないので当然ながらリッピング可能である。(DVD Decrypterにて)

ビットレートを見える

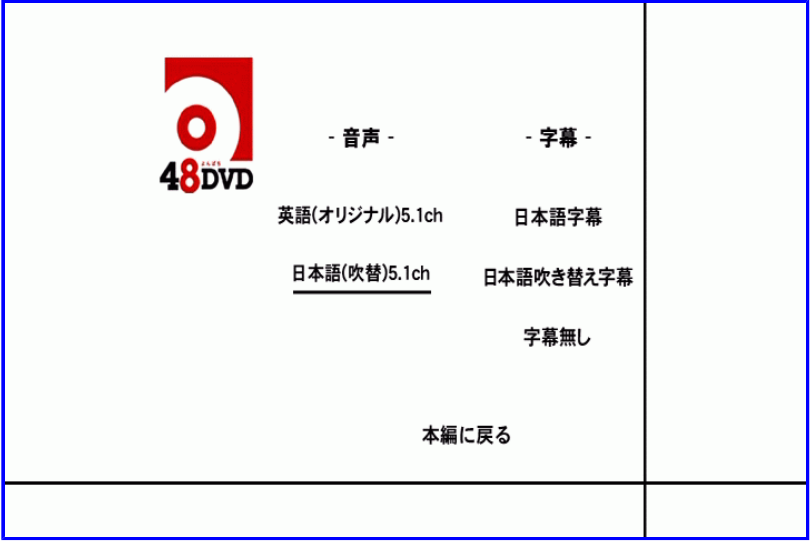


本編は2時間50分、平均ビットレート5.64Mbps 少し低い気もするが再生時間を考えれば納得。再生画質には特に問題なし。

再生してみる



再生直後、こんな注意書きが表示される。



メニューに48DVDのロゴが表示されている。

どうやら48DVD用にメニューが作り直されているようである。

48時間以上長持ちさせるには？

48時間DVDを48時間以上観れるようにするには、どうしたらよいか？

案
とにかく空気に触れさせなければよい。

- 方法**
- 1 クリアラッカーでコーティング
 - 2 透明フィルムでカバー
 - 3 水中で保存
 - 4 真空パックする

最終的な実験方法は？
1はクリアラッカーでコーティングすると読めなくなるので却下。CD-Rで実験済み。
2は透明フィルムも読込めなくなるので却下
3は水中にも酸素はあるが空気中に置いておくより劣化は遅いのでは？
4は真空パック機購入要 コスト大 よって却下



よって 水中での保存で何日間まで再生できるか実験することとした。

結果:時間経過によるディスクの変化



24時間後 リード可能



48時間後 リード可能



72時間後 リード可能



96時間後 リード不可

ディスク内週部が黒く変化していくのが良く分かる。

開封直後と96時間後の記録面比較



左:開封直後 右:96時間後
全体的に赤かった記録面が赤黒く変化している

結論
水中に漬けておいても大して寿命延命にはならない。
また、24、48、72時間時の平均ビットレートに違いは見られなかった。

総評

今回の検証でディスクが読める時間以内(空气中:48時間以内、水中:72時間以内)であれば通常のDVDと全く変わらない。寿命が尽きるとただのゴミ。私感として、600円という価格設定では今後さらに購入することはないだろう。600円もあればレンタルDVDを2本借りられるからである。

- 下記に該当する人向けかと思う。
- ・パッケージが欲しい。
 - ・返却が面倒
 - ・見たい映画が貸出し中で、なかなか借りられない。

48DVDのメリットが、あまり見出せないのは私だけだろうか・・・

以上